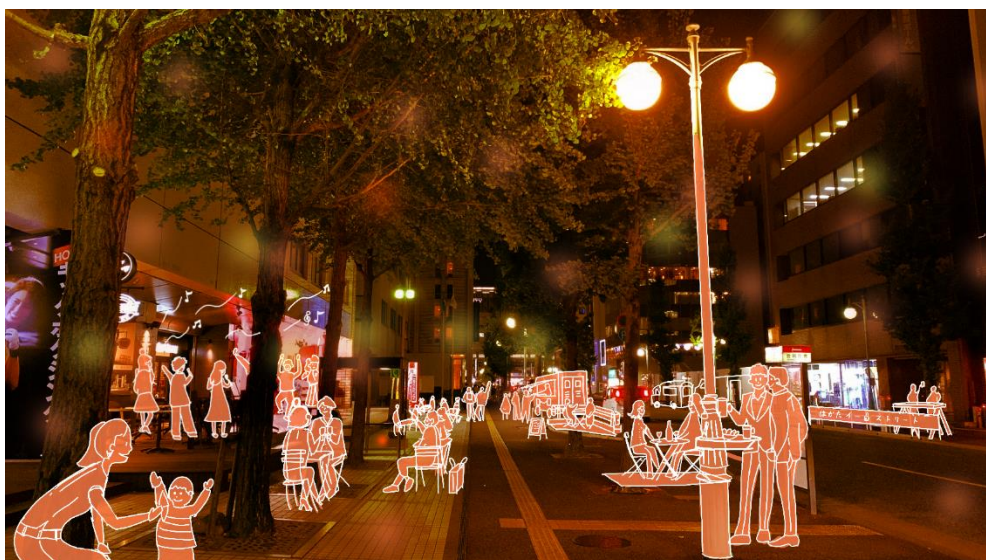


2022 年 9 月 22 日

博多駅筑紫口で **はかたイー！ストリート** を開催！

筑紫口中央通りを憩いの空間へ、初めての社会実験を実施します

博多駅まちづくり推進協議会と博多駅エリア発展協議会は、九州大学都市設計研究室及び博多駅周辺のまちづくりに賛同する企業約 160 社で協力し、筑紫口中央通りの道路空間や公開空地などの持続可能な活用及び今後のあり方を検証することを目的として、2022 年 9 月 29 日(木)～10 月 2 日(日)に社会実験「はかたイー！ストリート」プロジェクトを実施します。



筑紫口中央通り（呼称：はかたイー！ストリート）*における社会実験は、今回が初めての取り組みです。今年 8 月の博多駅筑紫口駅前広場リニューアルや「博多コネクティッド」規制緩和第 1 号である博多イーストテラス開業を契機に、博多駅筑紫口の最適な空間づくりや賑わいの広がり・周辺へのつながりを目指し、その第一歩として国家戦略道路占用事業も活用し実施するものです。

*はかたイー！ストリート：本プロジェクトにおける筑紫口中央通りの新たな呼称です。博多駅の“東側”に位置する大通りであることや、心地良い・楽しい通りにしていきたいという想いを込めています。

■実施概要

- ・ 日時：9 月 29 日(木)・9 月 30 日(金) 11:00～21:30
10 月 1 日(土)・10 月 2 日(日) 11:00～17:00
(雨天延期)
- ・ 場所：筑紫口中央通り



■実施内容

ガイトウスタンド

街灯にコンパクトなスタンドテーブルを設置し、飲み物を片手に気軽にくつろぐことができる空間を提供します。

憩いスペース

歩道空間にテーブルセットやボードゲームを設置します。筑紫口中央通りでの新たな過ごし方をお楽しみください。

キッチンカー

通り沿いに様々なキッチンカーが集結します。
9/29(木)・9/30(金)17:00～21:00

音楽イベント

通り沿いの3か所で音楽イベントを実施します。
(弦楽三重奏、アカペラなど)

9/29(木)・9/30(金)18:30～順次

<実施場所>

- ・都ホテル博多前
- ・シアトルズベストコーヒー博多筑紫口店前
- ・博多イーストテラス前



利用イメージ（実際の形状とは異なります）



■本社会実験におけるカメラ映像分析について

本社会実験では、定点カメラとAI画像解析技術を用いて筑紫口中央通りの通行量や人流、滞留状況等を計測します。空間・機能・催し等との関係性や影響を分析し、今後の博多駅周辺のまちづくりや筑紫口中央通りの在り方の検証に活用します。（詳細は別紙参照）

主催：博多まちづくり推進協議会 <https://hakata-machi.jp>

共催：博多駅エリア発展協議会 <https://www.hakata-hdc.jp> 九州大学都市設計研究室 <https://www.ud.arch.kyushu-u.ac.jp>

協力：WeLove 天神協議会、株式会社サエキジャパン、西日本電信電話株式会社九州支店、前田建設工業株式会社、都ホテル博多

お問合せ
博多まちづくり推進協議会事務局（JR九州 開発部まち創造課内）
TEL：092-474-7243（平日 10:00～17:00） E-mail：info@hakata-machi.jp

【別紙】

本社会実験におけるカメラ画像分析について

1. 実施事業者

九州大学 都市設計研究室（人間環境学研究院 黒瀬武史教授）

画像の処理・分析：公益財団法人九州先端科学技術研究所 高野茂（九州大学准教授）、九州大学 都市設計研究室

2. 実施内容

(1) 概要

定点カメラと AI 画像解析技術を用いて、筑紫口中央通りの通行量や人流、滞留状況等を計測し、本社会実験での各取り組みの影響を分析します。

(2) 目的

国家戦略道路占用事業の適用区域における公道を活用した賑わい創出のためのイベントとして、筑紫口中央通りでの社会実験を初めて行うにあたり、空間（什器等の設置）・機能（キッチンカーの配置）・催し（音楽イベント）などの各取り組みが、歩行者の交通及び居心地の良い滞留に対し、どの程度の影響を及ぼしたかを把握し分析します。また、それらを今後の持続的な取り組みや配置の最適化等に活用することを目的としています。

(3) 撮影期間

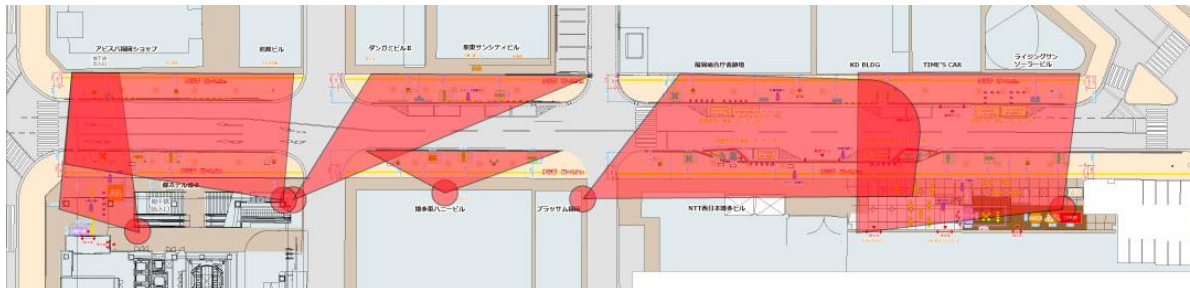
9月29日（木）・9月30日（金） 各日 11:00～21:30

10月1日（土）・10月2日（日） 各日 11:00～17:00

(4) カメラ設置場所

JR九州ホテルブラッサム福岡、都ホテル博多（3台）、博多東ハニービル、NTT博多ビル

(5) 撮影範囲 筑紫口中央通り



(6) 撮影方法・手段

上記カメラ設置場所に設置した定点カメラによる、個人を識別することができない解像度での画像取得

(7) 画像保管期間

撮影終了後7日間以内（統計処理後速やかに削除）

(8) カメラ画像の取り扱い

「カメラ画像利活用ガイドブック（ver3.0）」（経済産業省・総務省）に基づき実施します。

個人を識別することができない解像度での画像取得であり、本画像は個人情報の取り扱いには該当しません。また、同ガイドブックの指定する個人情報に該当しない動線データを分析の対象とします。撮影後は、画像閲覧者を限定したうえで適切に保管・管理し、第三者への提供は行いません。上記画像保管期間中に統計データを抽出した後、画像データは速やかに削除します。

カメラ画像の取り扱いに関する問合せ先
九州大学都市設計研究室（担当：平田颯彦）
E-mail：hirata.tatsuhiko.183@s.kyushu-u.ac.jp